



自然災害研究の最前線

首都圏の水災リスクと 企業に求められる対応

出典：
（台風イメージ画像）名古屋大学宇宙地球環境研究所ご提供
（災害画像）国土交通省HP(<http://www.milt.go.jp>)
（浸水シミュレーション画像）東京海上日動リスクコンサルティング(株)ご提供

今年、2005年8月以来11年ぶりに首都圏に直接上陸した台風9号や、茨城県常総市などに甚大な浸水被害をもたらした2015年の関東・東北豪雨による鬼怒川の氾濫によって、首都圏の水災リスクにますます社会の関心が高まっています。一方、地球温暖化の影響によって、将来、台風が強くなり、降水量が増加することが予測されており、今後、水災リスクへの備えの必要性がさらに増すことが予想されます。

そこで、本セミナーでは、企業活動に影響を及ぼす台風・洪水・高潮等の気象現象について、過去の被害を振り返りつつ、温暖化によってそのリスクは今後どう変化していくのか、そして企業はそのリスクにどう対処すべきか、最先端の研究成果を交え、対応のヒントを提供します。

▶ 日時

2016年11月7日（月） 13:30～17:00

▶ 会場

大手町サンケイプラザ4階ホール（裏面ご参照）

▶ 主催

東京海上日動火災保険株式会社・株式会社東京海上研究所

13:30～13:40 開会挨拶	東京海上日動火災保険株式会社 取締役社長 北沢 利文
13:40～14:50 講演1	「気候変動に伴う台風・水災リスクの現状と将来変化」 名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授 坪木 和久氏
14:50～15:00	休憩
15:00～16:10 講演2	「首都圏が抱える水災リスクとその対応」 国土交通省関東地方整備局 河川部長 朝堀 泰明氏
16:10～16:20	休憩
16:20～16:55 講演3	「激甚化する水災害に対する企業の備え」 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社 企業財産本部 本部長 佐藤 一郎氏
16:55～17:00 閉会挨拶	東京海上日動火災保険株式会社 専務取締役 岩崎 賢二

参加お申込み要領

■ 定員： 350名

※定員を上回る申込みをいただいた場合には、締切日前に締め切らせていただきますので予めご了承ください。

■ 申込締切日： 2016年 10月 7日（金）

■ 参加費： 無料

■ 申込方法：

東京海上研究所のホームページ

（<http://www.tmresearch.co.jp/seminar>）より
お申込みをお願いします。

■ その他：

お申込み時に、電子メールにて「参加証」をお送り致しますので、当日はプリントアウトしてご持参ください。

万一、お手許に届かない場合は、お手数ですが下記連絡先までお問い合わせください。

会場アクセス



会場： 大手町サンケイプラザ 4階ホール
 連絡先： 03-3273-2258
 住所： 東京都千代田区大手町1-7-2
 アクセス： 地下鉄大手町駅A4・E1出口直結
 JR東京駅丸の内北口より徒歩7分

セミナーに関するお問い合わせ

株式会社東京海上研究所（担当：斎藤）

Mail： tmri@grp.tmnf.jp

TEL： 03-3285-0391

東京海上日動火災保険株式会社（担当：経営企画部CSR室 鯉沼）

TEL： 03-5223-1552